

FCP 展示会・商談会シートの活用に関する研究会（第3回）

日時：令和8年3月4日（水）

14時00分～15時30分

場所：農林水産省本省共用第一会議室

1. 開会

2. 議事

- ・アンケート結果の共有について
- ・今後の普及の在り方について
- ・第4部（事例集）について
- ・その他

3. 閉会

第3回 FCP 展示会・商談会シートの活用に関する研究会

日時：2026年3月4日（水） 14:00～15:00

場所：ハイブリッド開催（ハイフレックス方式）

○アンケート結果の活用方針と動画第4部についての議論

- 第2回研究会後、船井総研のボランティアな協力のもと短編動画3本（①導入、②表面、③裏面）の作成を進め、現在アンケートを実施している。本日はアンケート結果の共有と、第4部（活用事例とまとめ）の作成方針について議論する。
- 現在7件の回答が集まっているアンケートでは、動画の長さ（「ちょうど良い」が7割）や分かりやすさ（「非常に分かりやすい」が7割超）についてはポジティブな評価を得ている。一方で、「書いてみようと思ったか」という問いには「どちらとも言えない」が4割以上おり、動画を見ただけで実際の記入行動に促すための動機付けが課題であると考ええる。
- 動画で役に立った内容として、「FCPシートの役割・目的を知った」「シート作成のメリット（自社の整理）が分かった」という声が多く、AI適用のプロンプトに使いそうといった自由記述も見受けられた。
- 講師役から、第4部のシナリオ案について説明。前半で第1～3部を振り返り、中盤（4～6ページ）でアンケート等の「良かった声」を紹介する構成とする。具体的には、①商談の変化（説明の軸がブレなくなった等）、②社内の変化（自社の強み再認識等）、③成果（新規取引につながった等）の3つに分類し、取引を増やすために必要な視点で締めくくる全体で5分程度の動画を想定している。
- 現在のアンケート結果は「動画を見た感想」が中心であり、商談の変化や社内の変化といった具体的な成果の生の声はまだ十分に集まっていない。そのため、アンケート結果のみに依存するのではなく、講師や研究会メンバー、各自治体が現場での指導等を通じて直接聞いている「シートを書いて良かった」という実体験ベースの生の声を来週中目途で収集し、それを講師役がシナリオに反映していく方針とする。
- 事例の紹介にあたっては、アンケートの「そう思わなかった」という40%の層をひっくり返すために、「書かなかったらこうならなかったが、書いたらこうなった」という変化の側面に力点を置いて解説する。
- 自治体の意見：現状は裏面の品質管理等が書けないという課題があるため中身重視の構成が良い、常にシート作成を前提に動いているため担当含めて意見をまとめて送付する、引き続きアンケートに答えてくれる事業者がいれば当たってみる。

○普及のあり方と動画の活用方法について

- 第4部を含めて作成した全4本の短編動画は、農水省のFCPページに掲載する。動画のURLを案内して広く不特定多数に活用を促すことや、研修会場内で動画を投影するといった使い方も大いに推奨していく。中身を勝手に変えないことが必要だが、4本連続での視聴が必須ということではない。状況に合わせて視聴時間・部分は柔軟に対応する余地があるとの認識である。
- 動画の中のレーザーポインター等の改善要望については、データの差し替え等が可能であるため、可能な限り修正に対応する。
- 今後の動画展開として、第4部で完結とするのではなく、第5部、第6部の作成も視野に入れるべきとの意見もあった。今年度については、まず当初計画通り、5分×4本で一通りシートのことが分かるものを完成させることを優先する。
- 本研究会の立ち上げ時の問題意識（ふるさと納税返礼品の表示問題等の防止）から言っても、裏面をきちんと書いてもらうことの重要性をしっかりと伝えていく必要がある。
- 普及に向けたアプローチとして、企業の人や商談会の主催者・共催者など「シートを使うことを呼びかける人・依頼する側の人」に対して、「動画を作ったからシートを書いてもらってほしい」と直接呼びかけていくことが有効。
- 各県では、今後の商談会や事前研修会等の事業において、動画のリンクを送付したり、QRコードを配付するなどして、地道にPR・活用していく意向。
- 今後の課題として、AIの急速な発展により、AIにシートを自動作成させるケースが増加することが予想される。それに伴い、「信頼性」の担保や、本来の使い道から外れたシートが増加する懸念があるため、1~2年後の状況を見据えて活用の仕方を継続的に議論していく必要がある。
- 動画公開後も継続的にアンケートを実施して利用者の要望を確認する仕組みを作ってはどうか。
- FCP商談会シートに止まらず、普及の際に、FCPロゴマークやベーシック16との関連性について言及していくことも効果的だと考える。

以上